

令和5年度（2023）

学校教育経営方針

校長 河邊 利夫

教育方針

みんなが「笑顔でこれて、笑顔ですごせて、笑顔でかえれる」学校

学校教育目標

- ・自立 (自ら学び、自ら律する力)
- ・寛容 (相手を広く受け入れ、信じ合う力)
- ・共生 (共に高め合い思いやる力)

基本理念（学校教育目標を達成するために）

1. 生徒一人ひとりを徹底的に大切し、より丁寧な教育活動をおこなう。
2. 教職員が互いの役割・責任を意識し、組織としての協働性をさらに高める。
3. 家庭・地域・関係機関等との連携を密にし、本校の教育力向上を目指す。

めざす生徒像

- ・自立⇒自ら学ぶ姿勢を持ち、学校・家庭で学習に取り組む生徒
- ・寛容⇒自分の考えを持ったうえで、自他ともに受け入れられる生徒。
- ・共生⇒いろいろな考え方の相手と共に高めあえる生徒。

令和2年からのコロナ禍における、生徒と教職員の大切にして欲しい言葉

「知恵」・「協力」・「我慢」から「創造」へ

令和5年度（2023） 研究主題

「すべての生徒に“学び”の喜びを味わわせる」

～「学び」の喜びを味わうことで、次の学びの「意欲」につなげる～

「意欲」を高める取組の推進

指導の重点

1. 人権教育を基盤に据えた一人ひとりに心の居場所がある「集団づくり」

→ 何よりも安心・安全な「学級経営・学級づくり」を基盤とし、学級・生徒会活動を通して生徒たちが自分のクラス・学校を大切に思い、誇りとする「いじめを許さない・見過ごさない集団づくり」をおこなう。

2. 小中一貫教育の視点を活かした確かな学力をつける「授業づくり」

→ 小中9年間を見通した「学びの連続性」を基盤とし、生徒一人ひとりが抱える課題解決に向け、「自ら課題を見つけ学びに向かう生徒を育成する授業づくり」を目指す。

3. 自分の将来をたくましく切り拓くための「夢づくり」

→ 生徒一人ひとりの中学卒業後における自己実現を図ることを目指し、これからの社会に対応できるための「3学年を見通した系統的なキャリア教育」をおこなう。

4. 保護者・地域の思いを受けとめ、地域ぐるみの教育を推進する

→ 学校運営協議会（平成30年度設置）を主体とし、保護者や地域に「開かれた学校づくり」を推進する。

5. 働き方改革の推進

→ 出退勤システム勤務時間の自己管理による勤務時間の把握と目標を設定する。また、「学校・教職員」に対する生徒・保護者の意識改革を推進する。教育財産の共有と合理化・チーム対応を行う。

6. GIGAスクール構想の下、ICTの効果的な活用

→ 学習活動における生徒の思考や表現の充実。すべての生徒の可能性を広げるという認識の下、生徒が日常的・主体的・効果的な学びを進めることができるよう指導し、教材研究・評価・校務等にICTを活用し、指導力の向上に努める。